

## 第6学年 音楽

### 第6学年の学習到達目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 音の重なりや和音の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。

### 第6学年の主な学習内容

学期	単元名 ◎は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	音楽は世界を結ぶ つばさをください	●年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	○シンコペーションや3連符の効果を生かし、生き生きとした表現をする。 ○後半部分は、2部合唱する。
	にっぽんのうたみんなのうた おぼろ月夜	●歌詞の内容を生かし、旋律のうつくしさを味わって表現する。	○情景を想像しながら表現を工夫して歌う。 ○旋律のリズムや終わり方に注目し、フレーズに気を付けて歌う。
	音の重なりとひびき マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲第5番 ロックマイソル カノン ◎カノン	●声や楽器の響き合う美しさや楽しさを味わって表現する。 ●長調や短調の響きの変化を感じ取って表現したり聴いたりする。	○ハ長調、イ短調について理解し、響きの変化を感じ取って聴いたり、表現の仕方を工夫したりする。 ○互いの声や楽曲の音を聴き、響き合いを感じて、合唱したり合奏したりする。 ○楽曲の特徴を生かして、歌声や楽器の音色を工夫する。
	演奏のみりよく ◎交響曲第5番「運命」 第1楽章から 語り合おう	●様々な演奏による音楽表現の違いを感じ取り、そのよさを味わって聴く。 ●歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫しながら、表情豊かに聴く。	○オーケストラの楽器や響きに気を付けながら、演奏する人達や指揮者の違いによる音楽の表情の変化を感じ取る。 ○旋律の繰り返しや変化に気を付け、曲想を生かした表現を工夫する。 ○歌詞の言葉を大切にし、気持ちを込めて表現豊かに歌う。
	にっぽんのうたみんなのうた われは海の子	●情景を想像し、時の移ろいや自然の美しさを感じ取って表現する。	○歌詞の内容を理解し、情景や気持ちを想像して歌う。 ○旋律のまとまりや曲想を生かして歌う。

	<p>物語と音楽</p> <p>◎交響組曲「シェエラザード」から第1楽章「海とシンドバットの船」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●楽曲全体の曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く。</li> <li>●旋律の特徴と、役割や組み合わせが表している様子を思い浮かべて聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旋律や動機が表している意味を捉えて聴く。</li> <li>○旋律の役割や組み合わせから、思い浮かべた様子を発表し合う。</li> </ul>
後期	<p>音のスケッチ</p> <p>海のイメージから音楽をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イメージになった音型を使い、反復、問いと答え、変化など音楽の仕組みを活用し、見通しを持って音楽をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞の学習の経験をもとに、音型を選んだり、つくったりして、音楽の仕組みを生かして音楽をつくる。</li> </ul>
	<p>豊かな表現を求めて</p> <p>明日を信じて</p> <p>ス ワンダフル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽の仕組みを生かし曲想を捉えて、楽曲に合った表現を工夫する。</li> <li>●パートの役割や、ほかのパートとの関わりを意識し、聴き合いながら演奏する。</li> <li>●友達と一緒に表現する喜びを味わい、アンサンブルを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞の言葉の表現を大切にしながら、楽曲の構成を生かした歌い方を工夫する。</li> <li>○楽曲の気分やパートの役割を生かした表現を工夫する。</li> </ul>
	<p>伝えよう日本の音楽</p> <p>越天楽今様</p> <p>◎春の海</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の旋律の特徴を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。</li> <li>●箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌詞の意味を理解し、情景を思い浮かべながら歌う。</li> <li>○歌詞の特徴を生かして、表現を工夫する。</li> <li>○楽曲の構造や演奏の仕方、楽曲の音の動きなどを注意して聴く。</li> </ul>
	<p>音楽に思いをこめて</p> <p>◎交響曲第9番「新世界より」第4楽章</p> <p>家路</p> <p>ふるさと</p> <p>さようなら</p> <p>◎別れの曲</p> <p>卒業式で歌う曲</p> <p>校歌 君が代</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作曲者の思いを想像しながら、楽曲を味わって聴く。</li> <li>●歌詞の内容を味わい、言葉を大切にしながら、楽曲に込められた思いを感じ取って聴く。</li> <li>●楽曲の盛り上がりを感じ取って、聴いたり歌ったりする。</li> <li>●心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。</li> <li>●学期の節目や行事に歌えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作曲の思いを想像しながら聴いたり歌ったりする。</li> <li>○歌詞の内容を理解し、フレーズや曲の盛り上がりを感じ取って歌う。</li> <li>○歌詞の表す気持ちを大切に歌う。</li> <li>○覚えて歌えるようにする。</li> </ul>

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 楽曲の構成に気を付けながら、曲想を全体的に味わって聴いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>活動の様子や、ワークシート、歌やリコーダーの課題テストなどによって評価していきます。</p>
---	--

### 特色ある学習方法

- (1) 5年生までの学習を更に発展させ、楽曲の構成をはじめ、音色や響きの特徴などにも気づきながら、より充実した合奏や合唱の活動を進めていきます。
- (2) 鑑賞の活動においては、我が国と諸外国の音楽を聴き、それぞれの音楽の持つ独特の響きを味わいます。また友達の演奏を聴きあい、よいところを見つける活動をたくさん取り入れています。

### 使用教材等

- 教科書「音楽のおくりもの6」（教育出版）、リコーダー曲集「飛行船の旅」を使用します。
- CD、ビデオ、楽器、ワークシート、歌集などを使用します。

### 留意事項

- 家庭での歌やリコーダー練習にご協力をお願いします。
- ※ リコーダーの練習は、主に音楽の授業や教室での練習を積み重ねていきたいと思っています。家庭では、長期休業中のリコーダー練習をよろしくをお願いします。上達の跡が見えたら、あたたかい声かけをお願いします。
- ※ 教科書や歌集「みんなのうた」を利用してレパートリーを増やし、いろいろなところで歌を歌えると楽しいと思います。ご家庭でも一緒に歌ってみてください。